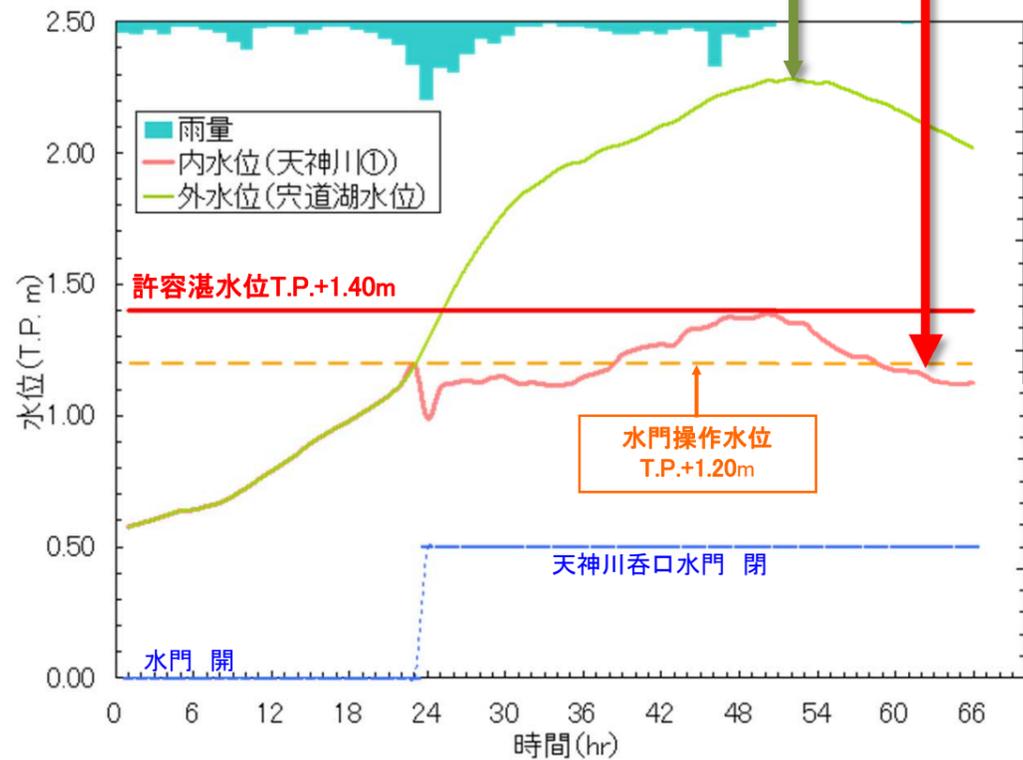
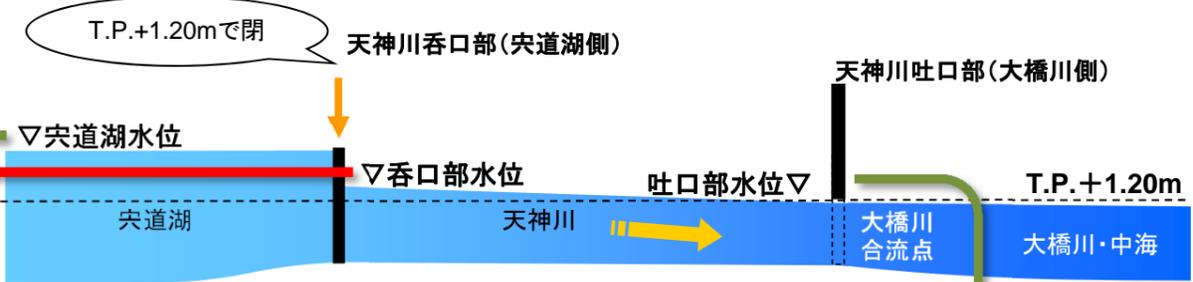
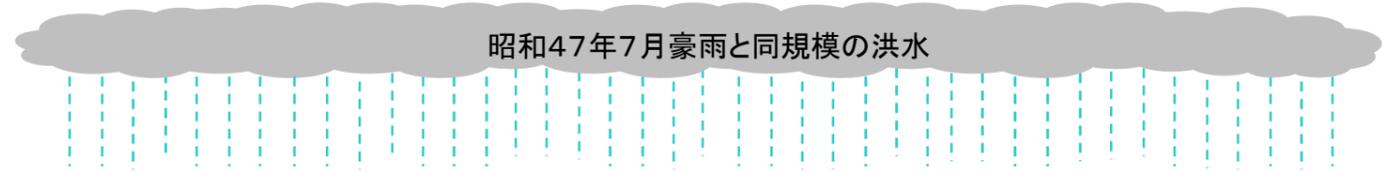


- 大橋川が河川整備計画(今後20年間の計画)で改修されると、大橋川の外水位は現状に比べ低下します。
- 整備中(H24~H26)の天神川呑口部の水門を閉め、吐口部の水門を開けて大橋川へ自然排水を行うと、許容湛水位T.P.+1.40を下回ります。
⇒【国により整備中(H24~H26)の天神川水門の操作により対応します。】

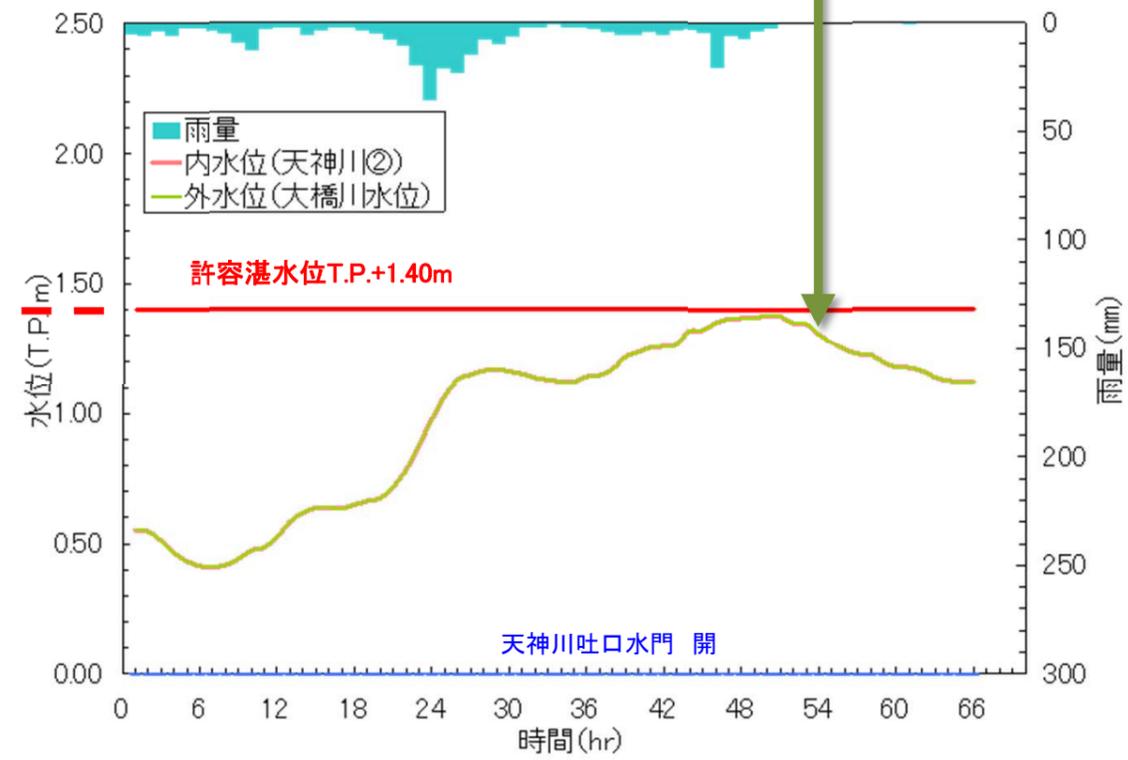
天神川の内水対策

○将来想定される土地利用状況と将来の河川整備状況を考慮した内水処理計画を検討

- 大橋川の整備状況は、河川整備計画(今後20年間の計画)で改修された段階で検討
- 計画洪水：昭和47年7月洪水実績
- 許容湛水位：T.P.+1.40m
- 大橋川水位：河川整備計画(今後20年間の計画)で改修された段階
ダム・放水路あり
下流狭窄部拡幅あり
- 土地利用状況：天神川流域は、市街化が進行しているため現況
- 河道形状：天神川は、現況の河道



天神川呑口部(宍道湖側)



天神川吐口部(大橋川側)